

献詠入選句（一般の部）

一位

枯木揺れ青空を搔き混ぜりけり

東京都世田谷区

原田 淳子

二位

新しき庵主のことに日焼せる

東京都国分寺市

杉原 祐之

三位

陸奥の旅の途中の雛の市

島根県松江市

寺津 豪佐

四位

円位忌やひたすらまろきさざれ石

東京都府中市

竹内 省司

献詠入選句（小学生の部）

一位 冬の朝日差しがぴんと伸びている

桜川市立谷貝小学校 中原 侑士

二位 ごめんねの後にかかるにじの橋

揖斐川町立谷汲小学校 植山 いろは

三位 夕月にみんながちらりとふりむいた

大磯町立大磯小学校 山本 桜也

四位 雪だるま日ざしでしせい悪くなる

大磯町立大磯小学校 須田 悠太

献詠入選句（中学生の部）

一位

さくらんぼ風にゆられて手をつなぐ

大磯町立国府中学校 山崎 郁実

二位

クリスマスいつもの街に色が咲く

大磯町立国府中学校 鈴木 里彩

三位

文庫本開けば薫る春の文字

名古屋市長供米田中学校 渡辺 美愛

四位

夜遅く取り残される雪だるま

大磯町立国府中学校 伊藤 有偉

献詠入選句（高校生の部）

一位

放課後にあんぱんを食む一景忌

愛知県立幸田高等学校

清水

直弥

二位

台風来画面の新宿駅しづか

岩手県立水沢高等学校

鈴木

萌晏

三位

無口な父笑う丸焦げの鯛

岩手県立水沢高等学校

里館

園子

四位

こたつねこ虫も殺さぬ顔をして

茨城県立結城第二高等学校

金澤

春葉